

北のスポーツボラ

スポーツをする楽しみ
見る楽しみ
支える楽しみ

発行 / 認定NPO法人 ランナーズサポート北海道

コロナ禍とランニング大会 ランナー、ボランティアの安全のために

屋外に設けられた手荷物預かり所。選手がセルフで出し入れして、フェイスガードとマスクのボランティアは手指の消毒を担当（豊平川トライアルマラソン）



新型コロナウイルス感染症の拡大で、2020年のランニング大会などスポーツイベントも全世界で軒並み中止となり、スポーツボランティアは活躍の場がすっかり奪われてしまいました。

こうした状況下でも、夏ごろから道内では検温やソーシャルディスタンスを取るなどの感染防止対策を講じて開催に踏み切る大会が現れてきました。大規模市民マラソンの再開までには、まだまだ皆さんの障壁がありますが、徐々にイベント再開の機運は作られてきています。

コロナ禍の終息はそう簡単にはやってきそうにありませんが、スポーツする喜びをみんなが分かち合えるようにと、ニューノーマル（新常态）の時代に応じたイベントの実現へ大会主催者、競技関係者、参加選手らの努力

は続いています。

開催されたランニング大会でどんな感染防止対策が取られているのか、また来シーズンの道内外大会の開催の見通しはどうなっているのかをまとめます。

目次

- 密の回避が肝心 ②
- 2021年大会の開催予定は ③
- 健康の雑学 家でラジオ体操 ③
- スポーツボラの〈キホン〉 ④